

# 

T-Lion (The Triumphant Lion: ザ・トライアンファント ライオン) ※Triumphant=「勝利を得た」「意気揚々とした」の意

第12号

- ●2021年度 事業方針・事業計画
- 2021年度 公開講座情報

# アフターコロナの社会貢献を考える



● Profile 日本体育大学社会貢献推進機構 機構長 石井隆憲(いしい たかのり)

日本体育大学大学院体育学研究科修士課程修了(S60.3)/博士(社会学)/NPO法人日本チンロン連盟代表理事、元日本スポーツ人類学会会長。ミャンマー・スポーツ省客員研究員(H11.4~H12.3, H16.4~H17.3)としてミャンマーに赴き調査活動に携わる。

皆さん、こんにちは。この4月より学長を拝命いたしました石井隆憲です。 現在、本学は新型コロナウイルス感染症を抑制するために、さまざまな活動 に対して制限を加えています。そうした中、本学でも学内においてワクチン 接種が可能となったことで、徐々に大学の機能の多くを取り戻すことができる ものと期待しているところです。

しかし、そうはいっても元の状態に戻るのではなく、まさにニューノーマルな生活へと移行することになると予想されます。こうした状況の中でコロナ以前と同じ状況になるのか、その先の見えないのが、今後の社会貢献についてです。ここでは現状を踏まえて、今後、本学が目指していく社会貢献の在り方について考えてみることにしましょう。

今更ですが、新型コロナウイルス感染症は大学の授業にも大きな打撃と新たな可能性をもたらしました。ところが、本学も含めて多くの大学の社会貢献活動については、大きな歯止めがかけられた状態が続いています。

その一方で、コロナ禍で加速しているのがDX(デジタルトランスフォーメーション)です。オンデマンドやオンラインによる遠隔授業が普及することで、大学教育の現場においてもDXの波が押し寄せています。DXが進むことで大学教育がより高度化され、現場でできることも増えると考えられており、「時間、場所、コスト」から解放されるとともに、「学習の習熟データを可視化」したり、「学生の学習データの分析による教育の質の向上」が見込まれるといいます。これによって、従来当たり前であった授業の在り方が大きく変化することも予測されています。社会全体がデジタルシフトしていったときに、社会貢献活動そのものも同じようなシフトが起こるのか、というのが大きな疑問でもあります。

現状の社会貢献の在り方を見ると、それは非常に多様であり、いわゆるオンライン教室などに代表されるような方法がある一方で、リアル空間でしかできないような内容のあることも事実です。本学がこれまで行ってきた身体知や遂行的知識と考えられる人間の身体の使い方に纏わる技術や技能に基盤を置く社会貢献の在り方は、どちらかというとリアル空間でなければ実施の難しいものが多く、そうした意味では、アフターコロナの時代においても、これまでと大きな変化はないかもしれません。ただ、コロナ禍によって、人々の社会貢献意識は高まっていることも事実なので、そのような意識が新たな支援活動の在り方を作り上げていくことになるかもしれません。少なくとも企業などのレベルではコロナ禍によってエンゲージメントの高い組織に社会の注目が集まっています。大学で考えるなら、学内における社会貢献活動の活性化なども重要になってくるのだろうと思われる、ということです。例えば、大学内での目的を明確にした寄付行為などは最もわかりやすいものの一つかもしれません。

いずれにしてもアフターコロナにおける大学が取り組む社会貢献は、今までよりも少しデジタル化した社会の中で行われる活動であり、そのような状況に対応できる人材の育成をも含んだ活動になっていかなければならないのだろうと予測しているところです。

# 2021年度 事業方針・事業計画

地域社会連携本部会議において、次のとおり2021年度の事業方針・事業計画が策定されました。

# 事業方針

地域(東京都世田谷区、青葉区を中心とした横浜市)の課題及びニーズを全学で共通認識し、自治体や教育機関等と連携・協力し、実践力を備えた指導者の養成や、「する」「観る」「支える(育てる)」ための良好なスポーツ環境の構築、地域 防災の強化・推進など課題解決にむけた各種取り組み・活動を通じて地域の活性化を継続的に推進する。

地域・社会貢献活動の活性化を継続的に推進するため、研究で得られた知見を生かし、学内はもちろんのこと対外的にもその取り組みの認知度が高まるよう情報発信方法を工夫し、活動内容の周知及び参加者の拡大を図っていく。

また、本学での学びを通して、実践的な資質・能力を獲得し、地域・社会において活躍できる人材の育成実現に努める。 将来的には、本学が有する校友会(同窓生、保護者等)組織と連携し、事業を全国的に展開するとともに、卒業生が活躍 できる場の創出につなげることを目指す。

# 事業計画

#### 本機構の事業方針のもと、2021推進事業を以下のとおり計画する。

- 1.社会貢献活動の推進と充実を図る。
- (1) スポーツプロモーション・オフィスの周知と活用の啓発

令和2年4月、横浜・健志台キャンパスに設置したスポーツプロモーション・オフィスを学生に向けて周知し、利用者の拡大を一層図るとともに、地域住民や行政機関等との連携をより強化する。

(2) 全学生に向けたボランティア情報の発信

教育機関や地域自治会等の外部団体から依頼されるボランティア案件を、全学生に向けてn-passを通じて情報を発信し、一層の人材バンクの登録促進を図る。

(3) 地域イベントへの積極的参加・協力

学友会団体による地域での社会貢献活動を推進する。参加可能な地域のイベント等には、感染症対策を十分に図り、 地域の活動支援を行う。

(4) 地方自治体との連携強化への協力

学校法人日本体育大学が地方自治体と結ぶ「体育・スポーツ振興に関する協定」に基づく連携事業への協力を行う。 自治体からの団体の受入れ、教職員・学生の派遣、「自治体フォーラム」への参加等、自治体との連携をより強化し、 地域の活性化を図ることで、幅広く地域社会に貢献する。

- 2. 本学での専門的な学びを通して、実践的な資質・能力を身に付け、地域・社会において活躍できる人材の育成を図る。
- (1) CSC資格制度の確立

学部の特性に沿った資格制度の運用に向けて各学部等と調整を行い、カリキュラムに反映する。

(2) 教育課程と繋がる地域・学校でのボランティア活動の支援

教職センター及び学生支援センターと情報を共有し、様々な実習等の受入れ先の確保について支援を行う。

- 3. 研究機関と連携して地域の課題解決に繋がる実効性のあるプログラム開発に努める。
- (1) 研究機関等と連携した取り組み促進と情報発信

総合スポーツ科学研究センター及び体育研究所と連携して、地域の課題やニーズの調査、関連する研究を継続的に推進するとともにその成果を発信し、広く地域社会に還元できるプログラムに繋げていく。また、地域住民を対象とした体力測定を引き続き実施し、ヘルスプロモーション等につながる取り組みとしてより創意工夫を図る。

- 4. 人的・物的資源を活かした公開講座等を実施する。
- (1) 地域の課題解決に繋がる公開講座の実施

「公開講座等の実施に関するガイドライン」に基づき、12講座を実施する。状況に応じて、対面、オンライン、ハイブリット形式等柔軟な対応ができる実施体制をとり、「新しい生活様式」実践のもと講座を開催する。

(2) スポーツフェスタ等のイベントの開催

小学生向け体験型イベント「日体大スポーツフェスタ」を、アスレティックデパートメント及び学友会と協力して 開催する。状況により、対面での開催が困難な場合、オンライン等での企画も検討する。

- 5. SDGs、地域環境整備、地域の防災力向上への取り組みを推進する。
- (1) 建学の精神を踏まえたSDGsへの取り組み

学校教育等で取り組みが進められているSDGsに関する協力や支援を積極的に行っていく。

(2) 地域における連携協定事業及び委託事業の継続

地域との連携協定事業及び委託事業を継続し、地域のスポーツ振興・推進の取り組みに引き続き参画していく。

(3) 地域の環境整備への協力

学友会やホームルーム、ゼミ活動を通じて積極的な情報発信等を行い、地域の環境整備への協力が全学的な取り組みとなるよう参加者の拡充を図る。

(4) 地域社会と連携した防災訓練等の実施

災害協力協定により継続して行っている事業(「防災訓練」「せたがや災害ボランティアマッチングコーディネーター 養成講座」「世田谷区福祉避難所(母子)運営体制強化」)を継続し、地域の防災力向上に寄与する。

本事業の推進にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止の徹底を図るとともに、その感染状況等を 踏まえた上で、関連する部署等との連携のもと、実施の可否の判断や開催方法等の在り方を検討するなど して事業を進めていく。

# 2021年度 公開講座情報

場所		講座名	講師	日時等	受講料
オンライン	stages -	<b>筋トレ塾</b> 2ヶ月間の自重トレーニング ※オンラインのみ	体育学部 准教授 菊池 直樹	5/17~7/10 月·水·土 曜日時間選択全16回 17:30-18:30、18:30-19:30、10:00-11:00 事前測定・事前指導・事後測定あり	無料
オンライン		<b>トレーニングのすゝめ</b> 基本的なトレーニング方法	体育学部 准教授 菊池 直樹	6/27(日)、後期 2回 14:00~16:00	一般 ¥1,000
世田谷	No. of Street	<b>らくらくエアロビクス</b> 楽しく心地よい全身運動	非常勤講師 大津 桂子ほか	9/25(土)、10/10(日)、10/30(土)、 11/13(土)※、11/27(土)、12/4(土) 10:30~12:00 ※午後	一般 各回 ¥1,000
世田谷		<b>産後母のためのヘルスケア教室</b> ストレッチ等心身のセルフケア	大学院 コーチング学専攻 助教 野村 由実	9/21(火)、9/22(水)、11/3(水・祝)、 11/13(土)、12/11(土) 10:30~12:00	一般 各回 ¥1,000
健志台		<b>腰痛さようなら体操教室</b> 腰痛を改善する体操と治療体験	保健医療学部 教授 伊藤 譲	1/30(目) 10:00~13:00	一般 ¥1,000
健志台		<b>膝痛さようなら体操教室</b> 膝痛を改善する体操と治療体験	保健医療学部 教授 伊藤 譲	2/27(日) 10:00~13:00	一般 ¥1,000
オンライン		スポーツ・医療・文化考シリーズ <b>身体・教育・文化を考える。</b> 各回4名の講師による研究知見	久保山 和彦、中里浩一、 服部辰広、白石聖、松田康宏、 松浪登久馬、福井元、横田匡俊、 高荷英久、水嶋崇一郎	後期 全3回	一般 各回 ¥1,000
健志台		<mark>地域のみんなとワイワイ楽しく</mark> 障がいに関係なくスポーツで交流	スポーツマネジメント学部 教授 野村 一路	後期 8回	一般 各回 ¥1,000 小学生以下各回 ¥500
健志台		<b>災害対応ゲーム「クロスロード」</b> <b>今こそ、防災を考える</b> カードゲームで災害に備える	保健医療学部 准教授中澤 真弓	後期	一般 ¥1,000 小学生以下¥500
健志台		スポーツ <mark>救急</mark> VR <b>を使用した<mark>救命蘇生講習会</mark></b> 最新情報の提供、最新機器を使用	保健医療学部 准教授 鈴木 健介	後期	一般 ¥1,000 小学生以下¥500
健志台		<mark>災害時の対応講習会</mark> 災害図上訓練DIG 地図に情報を書き込み街を知る	保健医療学部 准教授 鈴木 健介	後期	一般 ¥1,000 小学生以下¥500
健志台		<ul><li>災害時の対応講習会</li><li>避難所運営HUG</li><li>シミュレーションカードゲーム</li></ul>	保健医療学部 准教授 鈴木 健介	後期	一般 ¥1,000 小学生以下¥500
オンライン	2021年度 学術セミナー 第1回目 「コーチングを哲学する」 2021年5月7日 は 1998 会育学の体育学 免責と記憶	オンライン学術セミナー 本学の研究活動を公開	総合スポーツ科学研究セソター 日本体育大学体育研究所 オリソビ。ックスポーツ文化研究所 スポーツ危機管理研究所 教育企画センター 社会貢献推進機構	・第1回 コーチングを哲学する 5/27(木) 18:00~19:00 体育学部 准教授 佐良土 茂樹 ・第2回 子どもに短距離走を教える 6/24(木) 18:00~19:00 児童斌 - ツ教育学部 助教 鈴木 康介 ・第3回 運動と疫学から健康を考える~なぜ体力測定は必要か? 7/15(木) 17:30~18:30 体育研究所 助教 大田 崇央	無料

(2021年6月現在)

- ■対面方式を予定しておりますが、新型コロナウイルス感染状況によって、日程や開催方式(対面からオンライン)に変更が生じる可能性があります。対面で開講する講座については、本学の「公開講座等の実施に関するガイドライン」に基づき、感染対策を行います。
- ■最新情報や詳細については、本学ホームページを随時更新しますのでご覧ください。

https://www.nittai.ac.jp/

⇒「社会貢献推進事業~公開講座等開催のお知らせ~」

社会貢献推進事業 〜公開講座等 開催のお知らせ〜



# お申込み方法について

# お申し込みの流れ

# 申込受付

# 講座開催約1ヶ月前

各講座の申込受付開始日は ホームページをご確認ください







# 案内状•払込票送付

# 講座開催約1週間前

当日のご案内は対面講座は同封、オンライン講座はメールで送付。



# 受講料支払

### 指定の期日まで

対面講座は払込票の受領証を 当日会場へお持ちください



# お申し込み方法



インター ネット 本学ホームページ>「社会貢献推進事業~公開講座等開催のお知らせ~」から講座を選択し、必要事項を入力のうえ、お申し込みください。

# 日本体育大学HP https://www.nittai.ac.jp/



TEL

①受講希望講座名 ②氏名 ③住所 ④連絡先電話番号 ⑤人数・団体名をお申し出ください。 注:団体でお申し込みの際は、後ほど名簿をご提出いただきます。

電話番号

03-5706-0911



FA)

①受講希望講座名 ②氏名、フリガナ ③住所 ④連絡先電話番号 ⑤人数・団体名を記載し送信してください。注:団体でお申し込みの際は、②~④には代表者の情報を記載してください。併せて名簿を送信願います。

**号 03-5706-098** 

# 受講の注意事項

#### 次の事項をあらかじめご了承のうえ、お申込みください。

#### 事前のお申し込みが必要です

特別なアナウンスのないものを除き、事前のお申し込みが必要です。 お申し込みをせずに直接お越しになられても、受講はできません。 申込受付開始は講座開催約1ヶ月前です。

# 申し込みは先着順です

予約受付期間であっても定員になり次第、締め切ります。 FAXでお申し込みの場合、届いた時点で既に定員に達している場合 は、受理できませんのでご注意願います。

#### 事前のお支払いが必要です

講座開催約1週間前に案内状・払込票を送付いたします。 必ず、指定の期日までにお支払いください。振込手数料はかかりま せん。入金がない場合、受講はできません。

### キャンセル・返金

お申し込み後のキャンセルはご遠慮ください。健康上の理由ややむ を得ない事情等がある場合を除きます。ただし、入金後の受講料の 返金はいずれの場合においても対応できません。ご了承願います。

#### 内容変更

実施時間は多少延長・短縮されることがあります。諸事情により、やむを得ず内容・講師・実施場所等が変更になる場合があります。

#### 傷害保険の加入

運動教室については、本学にて参加者全員分傷害保険に加入いたします。但し、本学として責任を負いかねる場合もございますので、 体の不調や異常を感じた時は参加を見合わせる等、各自の責任において健康管理に十分ご注意ください。

## 休講

事故、災害、講師の急病等により、やむを得ず休講とすることがあります。この場合は、決定次第本学ホームページに掲載いたします。ホームページをご覧いただけない場合は、お手数ですが電話にて、お問い合わせください。この場合、納入いただいた受講料は返金いたします。ただし、交通費・宿泊費等の補償はできません。

#### 所持品の管理

学内での所持品の紛失盗難等につき、本学は一切責任を負いかね ます。各自の責任において管理をお願いいたします。

# 撮影・録音・複写転載・二次活用

特別なアナウンスがない限り、参加者による録音・録画・写真撮影等はお断りします。また配布資料の内容については一切複製転載・二次活用を禁止します。

本学スタッフによる広報目的での撮影が入ることがあります。

# 個人情報の保護

お申し込み等で取得した個人情報については、公開講座および本学 研究活動以外で使用いたしません。

なお、研究活動で使用する際は、個人が特定されない範囲での利用 となります。

#### 受講資格の取消

講師や他の受講生に迷惑となる行為、講座の進行を妨げるような 行為、本学が講座の運営上不適当と判断する行為があった場合、 受講資格を取り消すことがあります。

# 「T-Lion Voice Home」第12号(令和3年6月発行)

発行:日本体育大学社会貢献推進機構 スポーツプロモーション・オフィス

【東京・世田谷キャンパス】〒158-8508 東京都世田谷区深沢七丁目1番1号

TEL: 03-5706-0911(直通) FAX: 03-5706-0981

【横浜・健志台キャンパス】〒227-0033 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221-1 TEL: 045-507-1263(直通) FAX: 045-507-4556

両キャンパス共通メールアドレス:shakaikouken@nittai.ac.jp

